

## 令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	11	学校名	二階堂高等学校
----	----	-----	---------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	二階堂フェスタ
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	1年生「産業社会と人間」、2・3年生「社会人基礎力」における研究活動の一環として、全校生徒の中から有志による実行委員会を組織し、地域活性化について実学を通して学ぶこと。
連携・協働相手	天理市役所、二階堂高校近隣自治会
地域と共有している目標・課題等	地域創生、学校と近隣住民との連携・協働機会の増加
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>天理駅前広場コフフンで、実学を通じた学びの一環として実施する行事「二階堂フェスタ」を開催した。実施内容、地域の方々のニーズなどを生徒と共に考え、前例に捉われないこれからのフェスタのあるべき姿について、何度も議論を重ねたうえで実施した。実施内容として、実行委員製作の物販、小学生までの子どもを対象としたイベント、舞台を使用した発表等を行った。</p> <p>また、二階堂高校内において、一週間通して夕刻にイルミネーションと灯籠の展示を行った。今年度は実行委員による点灯式やプロジェクションマッピングを行い、年を重ねるごとにブラッシュアップすることを目標に実施した。実施期間中、実行委員生徒が来場者の対応を担当し、地域の方々とのコミュニケーションをとる機会とした。</p>	

### 2. 事業の成果と課題

<p>本事業の取組を通して、参加生徒の意識の中に「二階堂高校が地域の中に在る」という実感が芽生え、協働して地域社会に参画することの大切さについて考えさせることができた。また本事業に、地域の方々と過去に関わりをもったOB・OGが参画することで、成長した彼らが奈良県を支える一員として活躍する姿を多くの方に見ていただくことができた。</p> <p>本事業が地域の方々にとっての恒例行事として認められると同時に、教員の思い込みによる独善的な取組に陥ることがないように、意識を常に高めておく必要がある。</p>
---

